



生保内中学校報

令和元年
10月17日発行

前期の経験を生かし、後期での更なる飛躍を ～ 艱難汝を玉にす ～

実り多かった前期を終え、17日から後期が始まりました。

前期では、夏の郡市総体や秋の新人総体、各種コンクールや発表などでの部活動での活躍、また、駒草祭や合唱コンクールなどの学校行事への真剣な取り組み等、多くの場面で一人一人の子どもたちの素晴らしい姿を見ることができました。

後期は生徒会活動での2年生を中心とした新体制への引継、1・2年生の学習状況調査の実施、そして何よりも、3年生は受検という大きな試練が待ち受けています。

そこで、前期終業式、後期始業式では、「艱難（かんなん）汝を玉にす」という言葉を取り上げ、「これから待ち受ける多くの困難に立ち向かい、自分を磨いてほしい」という思いを込めてお話ししました。そして、そのためにも「目標を定め、物事に取り組むこと」「自ら（何をすればよいのか）判断すること」の2つを大切にしてほしいことも併せてお話ししました。

後期の学校生活の一日一日が、子どもたちの更なる成長に結び付いていけるよう、支援していきたいと思えます。どうか後期もよろしくお願ひします。

駒草祭、たざわこウオーキング&なべっこより



- ・10月26日（土）～27日（日）に仙北市神代市民体育館で「第15回仙北市産業祭」が開催されます。その際に、各学校給食センターに感謝の意味を込めた「給食展」が行われ、本校の生徒の給食を食べている様子も展示されます。どうかご覧ください。